

4/19福

規制委 川内停止を否定

委員長 断層と距離 影響限定的

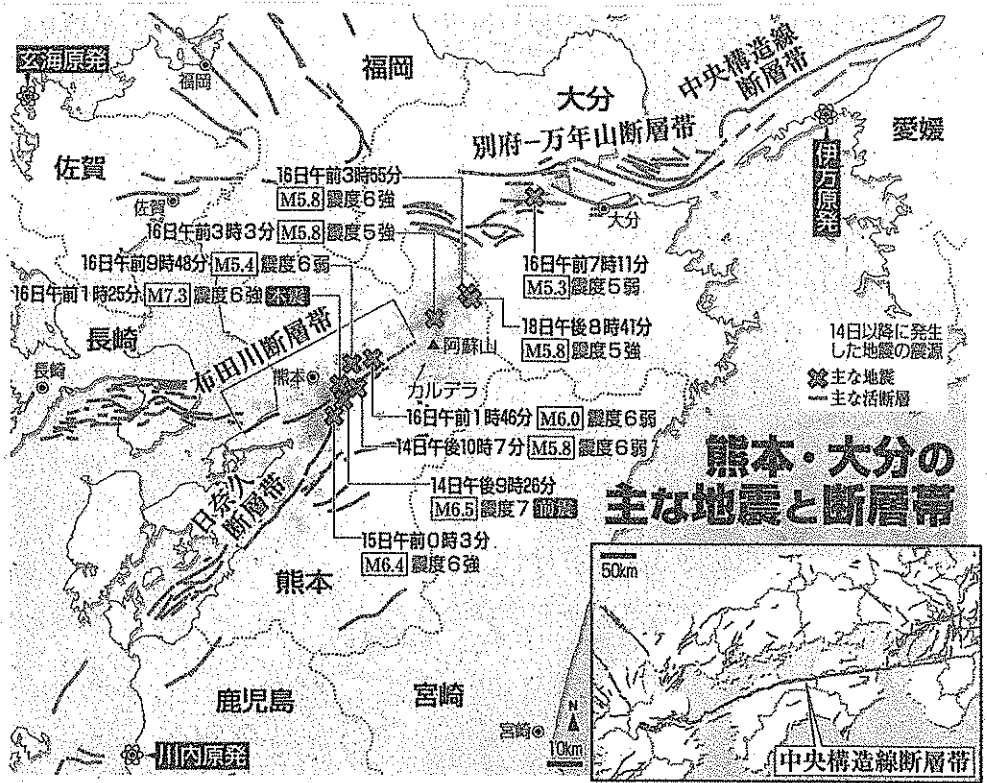
原子力規制委員会の田中 原英（鹿児島県薩摩川内市）

後一委員長は18日、記者会見を予防的に停止させる可能

し、熊本、大分両県を中心に相次ぐ地震を受け、全国で

唯一稼働中の九州電力川内が、今の状況で問題がある

と判断していない」と否定



熊本・大分の主な地震と断層帯

と判断していない」と否定
情報発信が不十分として政
府から改善を求められた問題
では「平直に反省しないとい

けない」と陳謝した。
規制委は同日、臨時会合を
開き、九州、中四国地方の4
原発に異常がないことを確
認。観測された揺れは4原発
とも、原子炉が自動停止する
設定値を大幅に下回った。地
震が続いていることから状況
を注視する。
規制委は川内1、2号機の
新規基準への適合性審査の
中で、今回活動した布田川・

日奈久断層帯について、長さ
92・7キロにわたって動き、地
震の規模がマグニチュード8
・1になると想定。だが原発
まで約90キロと遠く、影響は限
定的とした。
地震が南西方向でも活発化
しているが、震源がさらに同
方向に移っても同原発の安全
性に問題はないとみている。
田中委員長は「自動停止する
場合でも十分余裕を持って止
めるので安全上の問題は起き
ない」と述べた。
薩摩川内市では14日以降、
最大で震度4が観測された
が、九電は安全に影響がない
として発電を継続。政府も運
転を停止する理由はない（管
業権官房長官）との見解を交
えていない。
玄海原発、四国電力伊方原

英（愛媛県伊方町）、中国電
力島根原発（松江市）は停止
中。核燃料は使用済み燃料プ
ールに移されている。